

変形性股関節症

股関節は大腿骨の丸い骨頭が骨盤の受け皿としての臼蓋と組み合わせられてできています。関節への負担が起きると、軟骨の破壊や骨の変形をきたし関節に慢性的な炎症を伴い関節痛を生じ変形性股関節症となります。

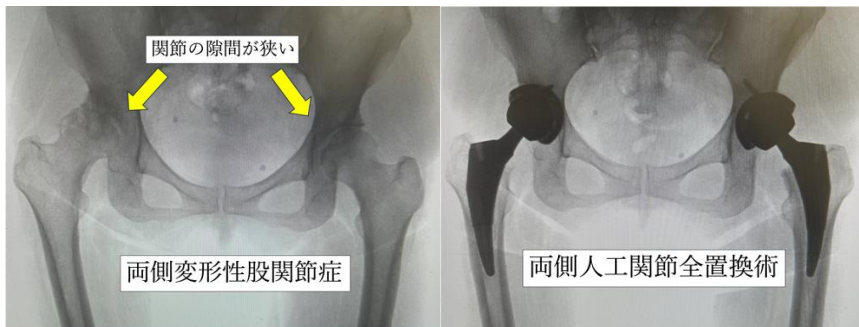
変形により痛みや可動域制限を生じ、立ち上がりや歩行に大きく影響を与え日常生活に支障を与えます。

当院では、日常生活に支障をきたすような場合手術加療を推奨します。

代表的な手術は人工股関節全置換術(THA; Total Hip Arthroplasty)です。

股関節に対する THA は、満足度が非常に高いことが知られております。

THA のアプローチ方法は多く存在しますが、当院では前方系アプローチを採用しております。前方系アプローチのメリットとしては、筋間アプローチ(筋肉と筋肉の間から侵入する)のため術後の痛みが少なく、早期離床が望めます。また人工関節の合併症としてある脱臼も少ないです。(患者様の体格や股関節の状態によっては後方アプローチとなります。)



股関節の痛みでお悩みの方は、是非一度ご相談ください。

変形性膝関節症

膝関節は大腿骨と脛骨で関節を形成し、膝への負担がかかると軟骨が破壊され骨の変形をきたします。

初期では立ち上がり、歩きはじめなど動作の開始時のみに痛み、休めば痛みがとれますが、正座や階段の昇降が困難となり（中期）、末期になると、安静時にも痛みがとれず、変形が目立ち、膝がピンと伸びず歩行が困難になります。

当院では上記と診断された患者様へ、日常生活の注意点、筋力トレーニングを指導しております。痛みが強い場合は鎮痛剤や漢方薬を投与します。

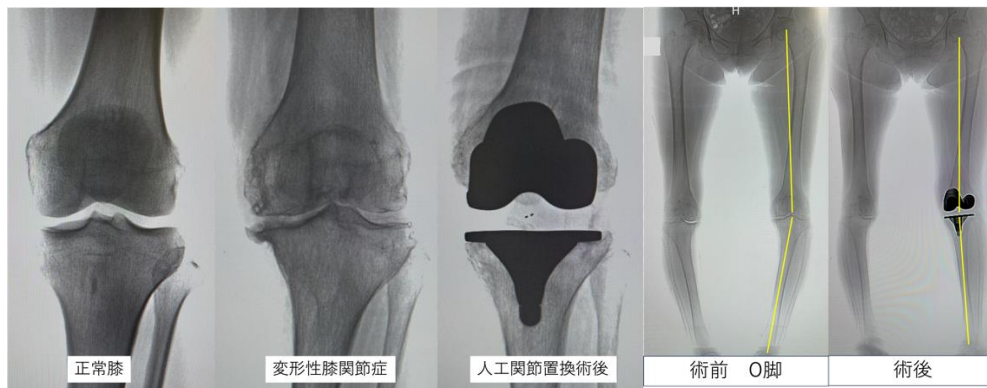
また、加齢により関節内のヒアルロン酸が減り膝への負担が増え、動きも悪くなるため外来にてヒアルロン酸注射を定期的に投与する治療も行なっております。

それでも尚、痛みが取れず手術加療に抵抗がある患者様には PRP・APS 治療（再生医療）を勧めています。（詳細は PRP・APS 治療の欄を参照）

上記、保存治療でなかなか痛みが取れず日常生活にお困りの方へは手術加療をご案内しております。

代表的な手術として、人工膝関節全置換術（TKA; Total Knee Arthroplasty）があります。

O脚やX脚に変形した下肢が、真っ直ぐとなり関節や筋肉への負担が軽減され痛みが軽減します。



膝の痛みでお悩みの方は、是非一度ご相談ください。

肩関節痛でお悩みの方へ

肩関節の痛みでお悩みではありませんか。

整形外科受診したけど、五十肩と診断され様子を見るように言われたけど全然治らないと悩んでいませんか。

痛いから、グルグルと肩を回していませんか。

多くの症例では肩腱板損傷や肩腱板断裂を認めております。

特に70歳以上の多くは、肩腱板断裂を来していることが多いとされます。

腱板断裂の他、肩関節拘縮で痛みが遷延している方もいます。

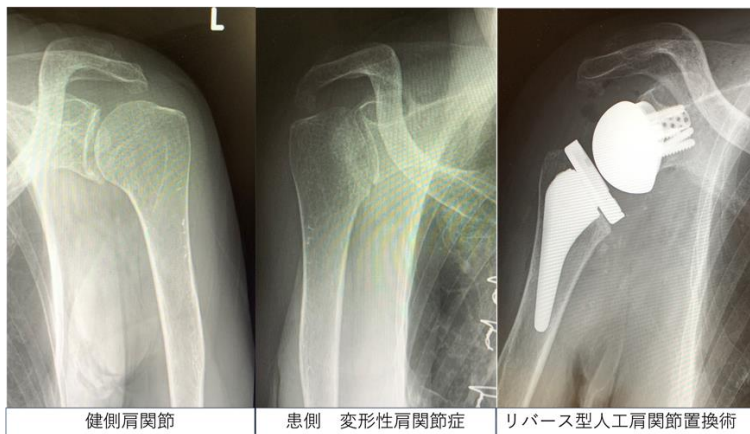
当院にてまずはMRI検査を行っていただくと痛みの解決の一步となるかもしれません。

まずは、外来にてご相談ください。

人工肩関節全置換術(TSA; Total Shoulder Arthroplasty)

肩関節に変形や痛みを生じ、日常生活が困る場合には人工関節置換術を行っております。

また従来の人工肩関節では腱板が残存していないと使用できませんでしたが、リバーズ型人工肩関節では広範囲腱板断裂に対しても適応となります。



変形性肩関節症や広範囲腱板断裂で肩の痛みにお悩みの方は、是非ご相談ください。